

2022年5月18日

Press Release

弘前れんが倉庫美術館 2022年度 展覧会 [秋冬プログラム]

ナラヒロ ドキュメント展 (仮)

会期：2022年9月17日(土) - 2023年1月29日(日) [予定]

会場：弘前れんが倉庫美術館 (青森県弘前市)



「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」展示風景 (2006年) ©Yoshitomo Nara
撮影：永野雅子

(…) みんなががんばってオープンした直後は花が咲いてお花見をする感じ。そして、花は必ず散るように、会期があるから展覧会も終わる。でも、終わった後には、種とかいろんなものをみんなが落とすんじゃないかな。
(…) 花が咲く背景には、土に還って養分となったたくさんの葉っぱがある。

—奈良美智の言葉より (2006年) (『A to Z 奈良美智 + グラフ』フォイル、2006年)

弘前れんが倉庫美術館では、2022年9月17日(土)から2023年1月29日(日) [予定]まで、美術館になる前の煉瓦倉庫で開催された、弘前市出身の現代美術家・奈良美智(1959-)による三度の展覧会*の軌跡を振り返る展覧会「ナラヒロ ドキュメント展 (仮)」を開催します。

現代美術作家として国際的に活躍する奈良は、1988年の渡独後、海外での活動も積極的に行う中、2000年に帰国します。翌年から、国内初の本格的な企画「I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.」が全国を巡回し、2002年には煉瓦倉庫を会場として開催されました。これを契機として、2005年、2006年にも煉瓦倉庫で奈良の展覧会が開かれました。

「奈良美智展 弘前」、通称「ナラヒロ」と呼ばれたこれらの展覧会は、当時煉瓦倉庫を所有していた吉井酒造株式会社の社長・吉井千代子と奈良の出会いをきっかけに、市内外から集まった多くのボランティアが主体となり実現しました。全国から多くの来場者が訪れ、街中に新たなエネルギーがもたらされました。このことは、美術館のなかった弘前に新しいアートの拠点ができることの可能性について市民が意識を向けるひとつの大きな機会となり、さらには煉瓦倉庫が現在の「弘前れんが倉庫美術館」として生まれ変わるための具体的な動きへと繋がりました。

煉瓦倉庫での最初の奈良美智展から20年を迎える本年、煉瓦倉庫と地域の関係性において重要な意味を持つ、この「ナラヒロ」にあらためて光をあてます。三度の展覧会を、当時の印刷物やグッズ、記録映像など様々な資料によって振り返り、かかわった人たちの思いをたどります。当時の展覧会準備の様子や展示風景を撮影した、写真家の永野雅子と細川葉子による写真展示のほか、過去に出展された奈良美智の絵画作品の展示などを予定しています。

資料および作品の展示、さまざまな角度からのリサーチの実践を通して、弘前で生まれた「ナラヒロ」というひとつの事例を基点としつつ、地域のアートプロジェクトや美術館、そしてそこに関わる人々をとりまく複数の問いを浮かび上がらせ、考えをめぐらせるための場の創出を目指します。

* 「I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.」(2002年) 「From the Depth of My Drawer」(2005年) 「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」(2006年)

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当: 大澤、石川 (公)

TEL : 0172-32-8950 FAX : 0172-55-5982 E-mail: press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1

主な展示内容 (予定)

- ・二人の写真家（永野雅子、細川葉子）が撮影した、展覧会準備の様子や展示風景写真
- ・当時の展覧会で出展された奈良美智の絵画作品
- ・関係者へのインタビュー映像をはじめ、三度の展覧会を多角的に振り返る資料
- ・展覧会ポスターやチラシ、グッズ、会期中に使用された看板など

奈良美智 プロフィール

1959年、青森県弘前市生まれ。現在、栃木県那須塩原市を拠点に活動している。見つめ返すような瞳の人物像が印象的な絵画、日々生み出されるドローイング作品のほか、木、FRP、陶、ブロンズなどの素材の立体作品や小屋型のインスタレーション作品の制作でも知られる。ヨーロッパ、アメリカ、日本、そしてアジアの各地のさまざまな場所で発表を続けている。

1980年代後半から作家活動を開始し、1988年渡独、国立デュッセルドルフ芸術アカデミー入学。修了後、ケルン在住を経て、2000年帰国。2001年に国内で初めて大規模な個展を開催し、横浜美術館ほか全国で巡回。近年の主な個展に「YOSHITOMO NARA」（ロサンゼルス・カウンティ美術館、2021-2022年）、「奈良美智特展」（台湾芸術大学 関渡美術館／高雄市立美術館、2021年）などがある。



©Yoshitomo Nara

弘前エクステンジ #05 「ナラヒロ」

弘前エクステンジ#05では、本展にあわせて、当時のナラヒロを知る関係者やボランティアスタッフへのインタビューをはじめ、参加型の様々な企画を通して、地域の人々がもつナラヒロの記憶や思い出をリサーチ／記録する試みを展開します。この場所が美術館へと生まれ変わる大きなきっかけとなったナラヒロと、弘前の街とのかかわりから生まれた創造性を考察します。

「弘前エクステンジ」について

弘前出身あるいは弘前ゆかりのアーティストや、地域の歴史や伝統文化に新たな息吹を吹き込むアーティストなどが、作品制作や調査研究のほか、地域コミュニティと関わるプロジェクトなどを行います。あわせて、トークやレクチャー、ワークショップといったさまざまなプログラムを開催します。

弘前エクステンジ #05 「ナラヒロ」 | メンバー募集中のプロジェクト

ナラヒロ カタリ部

ナラヒロ当時の体験やエピソードを、本展会場内で来館者にお話しくださる方を募集します。

活動期間 | 2022年6月下旬 - 9月（月1回程度、主に土日）

2022年10月 - 2023年1月（月2回程度）

定員 | 10名 ※応募者多数の場合は抽選

応募条件 | 以下すべての条件を満たす方

- ・煉瓦倉庫で開催された奈良美智の展覧会にボランティアとして関わったことがある方
- ・パソコンや携帯でのメール連絡が可能な方
- ・人と話すことや、コミュニケーションをとることが好きな方

詳細 URL | <https://www.hirosaki-moca.jp/exchange/05-narahiro/kataribu/>

小さな起こりリサーチプロジェクト

ナラヒロが街や個人にどのような創造的変化をもたらしたのかを探るリサーチプロジェクトです。ナラヒロのボランティア経験者や関係者からの証言、記録集などの資料をもとにナラヒロがきっかけで起こった変化を探り、写真と文章でまとめます。

活動期間 | 2022年6月下旬 - 12月（月1回程度、主に土日）

定員 | 10名 ※応募者多数の場合は抽選

応募条件 | 以下すべての条件を満たす方

- ・ナラヒロの取り組みが個人や街へどのような影響を及ぼしたのか興味がある方
- ・パソコンや携帯でのメール連絡が可能な方

詳細 URL | <https://www.hirosaki-moca.jp/exchange/05-narahiro/small-event-research/>

プロジェクト参加方法

募集期間 | 2022年5月18日(水) - 6月17日(金)

申込み | 専用フォーム <https://forms.gle/zP181MrZnLidMKEz8> にて受付

または、申込書(当館ウェブサイトで公開、館内にて配布)に記入し提出

〈提出先〉弘前れんが倉庫美術館 弘前エキスチェンジ#05「ナラヒロ」参加者募集係

〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1

Fax 0172-55-5982

プロジェクト説明会

プロジェクトについてより詳しく知りたい方、参加を検討される方に向けて説明会を開催します。

日時 | 2022年5月29日(日) ① 10:00-11:00 ② 14:00-15:00

※①②はいずれも同じ内容

会場 | 弘前れんが倉庫美術館 スタジオB

申込み | メール exchange@hirosaki-moca.jp または 電話 0172-32-8950

氏名、連絡先、参加希望時間を添えてお申込みください

弘前の奈良美智展にまつわる写真募集

ナラヒロ開催中の様子や、弘前れんが倉庫美術館が開館する以前の《A to Z Memorial Dog》の写真を集めています。応募いただいた写真は、当館のアーカイブ資料として活用するほか、写真の一部は本展会期中に掲示します。

募集期間 | 2022年3月2日(水) - 7月3日(日)

募集内容 | ①煉瓦倉庫で開催された奈良美智展にまつわる写真

②奈良美智《A to Z Memorial Dog》が屋外や煉瓦倉庫の中で展示されていた時(2007年-2018年)の写真

詳細 URL |

<https://www.hirosaki-moca.jp/exchange/05-narahiro/narahiro-photo/>



「I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.」
開催時の煉瓦倉庫外観

奈良美智《A to Z Memorial Dog》について

「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」に関わってくれた市民への感謝の気持ちとして制作されました。2007年に弘前市に寄贈されたのち、煉瓦倉庫前の土淵川吉野町緑地に設置され、街のシンボルとして親しまれてきました。煉瓦倉庫が美術館として生まれ変わる際に、美術館のエントランスに展示され、来館者を出迎えています。



奈良美智《A to Z Memorial Dog》2007年
©Yoshitomo Nara
Photo: Naoya Hatakeyama

開催概要

- | プログラム名： ナラヒロ ドキュメント展（仮）
- | 会期： 2022年9月17日（土）－2023年1月29日（日） [予定]
- | 開館時間： 9:00－17:00（入館は閉館の30分前まで）
- | 休館日： 火曜日
※12月26日（月）－1月1日（日）は休館
- | 観覧料： 一般 1300円（1200円） 大学生・専門学校生 1000円（900円）
※（ ）内は20名様以上の団体料金
※ 以下の方は無料
高校生以下の方/弘前市内の留学生の方/満65歳以上の弘前市民の方
ひろさき多子家族応援パスポートをご持参の方/障がいのある方と付添の方1名
- | 主催： 弘前れんが倉庫美術館
- | 会場： 弘前れんが倉庫美術館 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1
- | 一般問合せ： TEL: 0172-32-8950
- | アクセス： JR弘前駅より
- 弘南バス・土手町循環100円バス「蓬莱橋」下車 徒歩 約5分
- 徒歩 約20分
- タクシー 約7分
- | ウェブサイト： <http://www.hirosaki-moca.jp>
- | SNS： Instagram： @hirosaki_moca
Twitter： @hirosaki_moca
Facebook： @hirosaki.moca

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当: 大澤、石川（公）

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail: press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1